

久喜市ゆう・あい 事業報告

令和2年度事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

1 実施事業

(1) 定員と現員

令和3年3月31日現在

事業名	定員	現員
生活介護	定員20名	20名（男性14名、女性6名）

(2) 利用者の状況

ア 年齢構成

区分	10代	20～24	25～29	30代	40代	50代	60代	平均
男	0	3	7	3	0	1	0	29.4歳
女	0	0	1	2	3	0	0	36.6歳
計	0	3	8	5	3	1	0	31.6歳
%	0	15	40	25	15	5	0	100

イ 障害支援区分

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男	1	1	5	7	14	5.3
女	0	2	1	3	6	5.2
計	1	3	6	10	20	5.2
%	5	15	30	50	100	—

ウ 療育手帳・身体障害者手帳の所持状況

区分	療育手帳						身体障害者手帳						
	㊦	A	B	C	なし	計	1級	2級	3級	4級	5級	なし	計
男	13	1	0	0	0	14	0	0	1	0	0	13	14
女	3	2	0	0	1	6	2	1	1	0	0	2	6
計	16	3	0	0	1	20	2	1	2	0	0	15	20
%	80	15	0	0	5	100	10	5	10	0	0	75	100

エ 利用率の状況

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	19	22	22	21	21	23	20	21	20	19	23	252日
延利用者数	397	358	415	418	374	392	431	375	391	375	355	443	4,724人
利用率	94.5	94.2	94.3	95.0	89.0	93.3	93.7	93.8	93.1	93.8	93.4	96.3	93.7%

(3) 職員体制

職種	人数	備考
施設長	1	正規職員（法人内他事業所兼務）
主任	1	正規職員（サービス管理責任者）
生活支援員	11	正規職員2名 契約職員1名 契約短時間職員8名

生活支援員兼事務員	1	定年再雇用
看護師	1	常勤契約職員（法人内他事業所兼務）
計	14名	

2 重点実施事項

(1) 活動班の再編成

作業活動について再アセスメントを実施して、利用者それぞれの個性やニーズに応じたグループの再編成を行いました。また、日毎に作業内容を計画立て、その内容に応じた職員配置で取り組めるようにしました。

(2) 支援力の向上

新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮し、内部研修やグループ会議の頻度は低かったですが、夕会の場を中心に話し合いを行い、個々のスキルアップを図るとともに全体の支援力が向上するように取り組みました。

3 事業報告

(1) 利用者支援

ア 日常生活支援

個別支援計画に基づき、本人の状況に沿いながら、それぞれが自分のことを自分で行えるように環境を整え、できることを増やしていけるように支援をしました。

(ア) 食事

食材の刻みやとろみ剤の使用など、咀嚼や嚥下の機能に合わせた支援を行いました。

ピンセット箸や介護用スプーン、小鉢を使っての小分けなど、それぞれの能力に合わせた食器や用具を用意して食べやすいよう工夫しました。

毎月の体重の増減を見て、大幅な変動が見られる方や糖尿病を持つ利用者には、家族や嘱託医、看護師と相談して食事の量を増減するなど、きめ細かい対応をしました。

(イ) 排泄

排泄支援の必要な利用者には定時誘導を行い、自分から排泄サインができそうな方には、自発的に行動できるように支援しました。

(ウ) 着脱衣等

靴の脱ぎ履きがしやすいよう玄関先の椅子を使用し、安全を確保しながら行いました。

イ 社会生活支援

(ア) 社会体験活動

新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮し、日帰り旅行や社会体験外出は中止にしました。7,8月には、感染防止対策を十分配慮したうえで、きっちん・こすもすへの外食体験を実施しました。

(イ) 文化活動

活動のなかに音楽や創作活動を積極的に取り入れました。

音楽活動	障害者への音楽指導を行っている講師に来ていただき、音楽療法の手法を取り入れた音楽活動、合奏など
創作・文化活動	創作、ビーズ手芸、絵描き、本読みなど

(ウ) 作業活動

受託作業はコーヒー等の箱入れ、バリ取り、カップ入れ作業を行いました。また、1月から新たにダンボールの組み立て作業を開始しました。

アルミ缶やダンボール、新聞のリサイクル、回収作業は地域の方や市内にある酒屋、ゆうあいの前にあるマルハンやローソンから回収して仕分け作業を行いました。

自主製品の布製品は、定期でボランティアをしてくださる方からアドバイスをいただきながら、さらに種類を増やしてきました。地域行事等が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になることが多く、自主製品を販売する機会がなかったため、11月に保護者向けに自主製品販売会を実施して、よりやりがいを持って取り組めるようにしました。

< 班別活動内容 >

ハートワーク班	バリ取り、缶つぶし、牛乳パックの椅子作り、本読み、音楽活動、創作、ビーズ手芸、運動、足湯など
ハンドワーク班	受託作業、自主製品の製作と販売、カレンダー製作、広報紙作成など
フットワーク班	アルミ缶・新聞紙・ダンボール等の回収・選別作業、近隣清掃など

< 作業内容と工賃 >

作業内容	収入額	諸経費	差益額
リサイクル作業	109,487 円	44,046 円	65,441 円
自主製品販売	189,500 円	71,505 円	117,995 円
受託作業	96,384 円	8,569 円	87,815 円
小 計	395,371 円	124,120 円	271,251 円
前年度繰越額	2,652 円	—	2,652 円
合 計	398,023 円	124,120 円	273,903 円

< 工賃支給額 >

※3月31日分は令和3年4月30日に支給

支給日	10月31日	3月31日	合計
工賃支給額	83,800 円	187,100 円	270,900 円
平均支給額	4,190 円	9,355 円	13,545 円
最高支給額	4,500 円	10,500 円	—
最低支給額	1,700 円	3,600 円	—

翌年度へ繰越 3,003円

ウ 余暇活動支援

新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮し、規模を縮小するなどしながら、可能な限り余暇を充実させて楽しみのある生活を送れるよう支援しました。

お盆日課	室内レク、DVD鑑賞、ドライブなど
クラブ活動	スポーツクラブ：久喜けいわの機能訓練棟で運動、公園散策、室内レク、買い物外出など クリエイトクラブ：絵画や工作を取り入れた壁面制作、飾り付け、お菓子作りなど

余暇外出	久喜菖蒲公園	10月
	モラージュ菖蒲、ビバモール加須	10月
	外食（熊谷市）	10月
	環境科学センター	12月

エ 健康支援

- (ア) 日常的な健康管理のほか、ストレッチや散歩、腹筋などの運動や、個別プログラムに基づいた機能訓練、足湯や手浴などの血行促進やリラクゼーション活動など、それぞれの必要に応じた健康支援を行いました。
- (イ) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、毎日の検温や手指消毒、換気の徹底、対面にならない、食事時間をずらすなどの環境設定、アクリル板の設置などを行いました。
- (ウ) 8月に健康診断を実施し、健康診断の結果を受けて、9月に嘱託医による健康相談会を行いました。2名の保護者が嘱託医に個別相談をしています。
- (エ) 宮代特別支援学校の協力を頂いて、動作訓練を実施しました（7月）。訓練プログラムの内容にもアドバイスを頂き、利用者の現状に合わせて更新しました。
- (オ) 久喜市歯科医師会の協力による歯科検診とブラッシング指導や久喜市食生活改善推進員による食事指導、作業療法士による相談は、新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮し、中止にしました。

日常健康管理	毎朝の健康チェック、体重、血圧等のバイタル測定（毎月1回）、発作・食事量・排泄等の記録、看護師による健康チェックなど
健康診断	協力医療機関である東鷲宮病院にて、3班に分かれて実施 基本内容のほか、希望により自己負担にて検査項目を追加
嘱託医による健康相談・指導	嘱託医相談 毎月1回 第3木曜日 インフルエンザ予防接種 健診結果や健康についての個別相談会の実施（担当職員による）

オ 虐待防止対策

職員会議にて、職員倫理綱領と職員行動規範の読み合わせや意見交換を行いました。また、11月には職員セルフチェックリストを使用し、支援の振り返りを行いました。

(2) 働きやすい職場づくり

- ア 朝会や夕会、会議ではコミュニケーションの向上を図り、意見を出しやすいようにして、職員全体で支援ができるようにしました。
- イ 職務点検活動の面談の他、必要に応じて職員面談を実施し、心身の健康に配慮しました。

(3) 人材育成

- ア OJTを通じて職員の育成を図り、職員全体の資質の向上に努めました。
- イ 外部研修は、新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮し、オンラインでの研修を中心に参加しました。参加した職員は会議等で全体に報告し、内容を共有しています。研修については以下の表の通りです。

< 外部研修 >

日付	研修名	主催者	参加者
11月1,8日	強度行動障害支援者養成研修（基礎）	藤仁館医療福祉 カレッジ	立野
11月6日	風水害リスクマネジメントセミナー （オンライン）	株式会社ジェイ アイシー	松本、立野
12月16日	新型コロナウイルス感染症対策BCPセミナー （オンライン）	株式会社ジェイ アイシー	松本
2月10日	事例から学ぶコロナ対策（オンライン）	埼玉県社協	松本、高宮
3月2,3日 4,5日	福祉現場に必要な法律の基礎知識研修 （オンライン）	埼玉県社協	江森、立野 真辺、岡野
3月9,17日	摂食・嚥下研修（オンライン）	埼玉県、 埼玉県事業団 埼玉県社協	高宮、上野 石川
11月1,8日	強度行動障害支援者養成研修（実践）	藤仁館医療福祉 カレッジ	立野

< 内部研修 >

日付	内容	参加者
6月26日	防災研修（水害）	松本、江森、立野、真辺、高宮、岡野 佐藤、伊藤、染谷、池田、木村、本多

< 法人研修 >

日付	内容	参加者
12月3日	研修	松本

(4) リスク管理

- ア 定期的に建物内外を点検し、安全が確保できるように対応を検討したり、必要な措置を講じました。
- イ 建築基準法に基づく建築物・建築設備定期点検を実施し（業者）、指摘事項はありませんでした。
- ウ 火災を想定した避難訓練（10,11,2月）、水防法に基づく避難訓練（3月）、Jアラートに合わせたシェイクアウト訓練（11月）を実施しました。水防法に基づく避難訓練では、実際の避難場所へ公用車を使用して全員が避難する訓練を行いました。

(5) 地域交流

- ア 地域への奉仕活動として、地域の美化活動を行いました。
- イ 利用者の編集によるゆうあい通信を年6回発行しました。事業所内での活動を報告するほか、自主製品のカタログを添付し、地域の方に色々と知っていただけるよう努めました。
- ウ 地域のイベントや法人主催行事、あゆみの郷と合同で開催するクリスマスコンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施されませんでした。

エ ボランティアについては、2名の方が定期的に来てくださっており、音楽活動や自主製品製作補助をしていただきました。

ボランティア（定期）	作業補助、散歩付添い、音楽活動等	2名、延27日
介護等体験		5名、延25日

（6）事業運営（自主事業）

ア 時間延長の受入れ

原則、8:30 から 17:30 の間で、要望に応じて実施しました。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用延人数	7	3	18	4	6	4	5	8	7	6	7	1	76人

イ 休日開所の利用

季節に合わせた室内レクを中心に、近隣への散歩や DVD 鑑賞などを行いました。

月別	5	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
利用人数	12	12	12	12	12	12	11	11	11	105人

ウ 宮代特別支援学校の協力を頂いて、動作訓練を実施しました（7月）。訓練プログラムの内容にもアドバイスを頂き、利用者の現状に合わせて更新しました。

エ 送迎サービス

公用車（リフト付きハイエース）を使用して朝夕の送迎サービスを行いました。8名の方が常時利用しています。また、家族の都合や悪天候により、送迎を希望した方への送迎を実施しました（5名、延べ33回）。